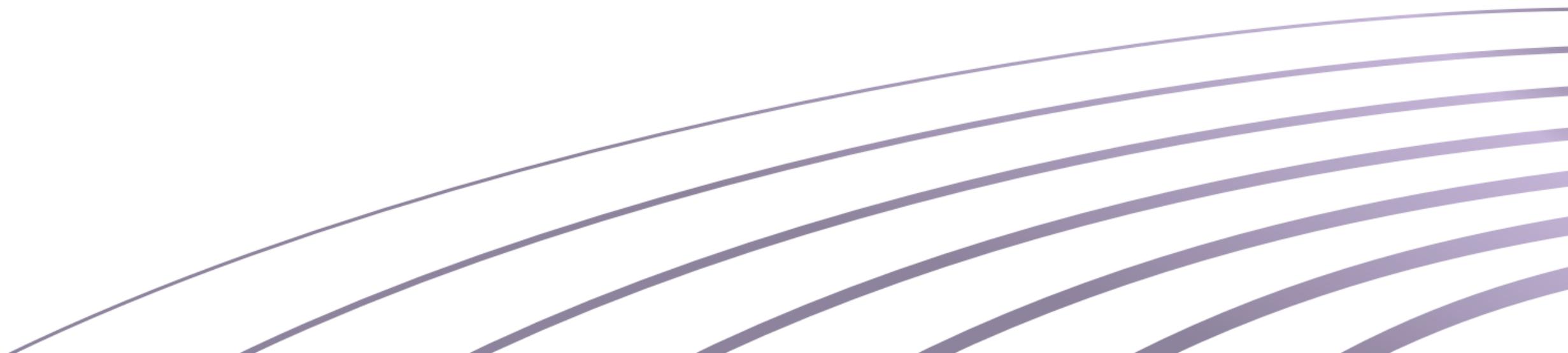


大会ロゴの決定について

WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
TOKYO 25



大会ロゴについて

1. 東京2025世界陸上の象徴
2. 大会のWebページ、テレビ放映で使用されるとともに、印刷物、グッズ販売にも活用
3. WAロゴの形に、LOC独自のデザイン、開催都市、開催年を表示

【WAロゴ】



開発方針

1. 人々に親しまれ、多くの参画を得られる
 - ▶ 気運醸成や都民参画の機会とするため、**デザイン案の一般公募**を実施
 - ▶ 選定委員会の**委員の一部を公募**により選出
2. 未来を担う子供たちが、世界陸上に参加できる
 - ▶ **ジュニア陸上選手**の「東京 2025 世界陸上への期待、陸上競技、東京開催への思い」を、募集のコンセプトに反映
3. 東京、日本の魅力を世界に向けて発信する
 - ▶ 開催地である**東京、日本を象徴**するデザイン（芸術、文化、建築等）を反映

ジュニア陸上選手インタビュー

1. 東京2025世界陸上に期待すること

- ▶ 日本や東京のすばらしさを世界に伝えられる大会
- ▶ できるだけ多くの国が参加し、多くの国の人に見てもらえる大会
- ▶ 国境やジェンダーの垣根を越えて、人種差別のない、選手平等の大会
- ▶ 様々なものが止まっていたコロナ禍からの再起動を示す大会
- ▶ 高齢者の方や小さな子供を含めて幅広い層のお客さんに見てもらえて、見ている全員が応援、熱中できる大会
- ▶ 見てくれた人が陸上に触れるきっかけ、興味を持ってもらえるきっかけになる大会
- ▶ 立場関係なく協力しあい、一体感のある大会
- ▶ スポーツマンシップを大切に汗も涙も輝く大会

2. 大会ロゴに期待すること

- ▶ 東京や日本の魅力、文化、伝統、風景、風土、季節などが表現されたロゴ
- ▶ 日本らしさもあるけど世界の人たちにも受け入れられるロゴ
- ▶ 陸上競技の情熱があふれるロゴ、多様性が表現されたロゴ



ジュニア陸上選手へのヒアリング（23/10/29・高校生）



ジュニア陸上選手へのヒアリング（23/11/7・中学生）

開発プロセス

時期	事項
2023年11月30日	大会ロゴデザイン、公募委員の募集開始
12月25日	公募委員応募締切（応募総数：29人）
2024年1月15日	大会ロゴデザイン応募締切（応募総数：368点）
	要件確認（募集要項に反するデザインを除外）
2024年1月29日	予備選定会（デザインの観点から絞り込み）
2月21日	一次選定委員会（上位作品を選定）
3月	WA承認→商標調査
3月22日	二次選定委員会（1作品を選定）
3月28日	第9回理事会
5月	公表予定

選定委員会メンバー

	氏名	肩書等
委員長	木村 雅彦	株式会社GKグラフィックス 代表取締役社長/株式会社GKデザイン機構 取締役/ グラフィックデザイナー
委員	秋山 かおり	STUDIO BYCOLOR Inc. 代表取締役 / デザイナー
委員	ヘンリー ホー	株式会社GTDI 代表取締役 / グラフィックデザイナー
委員	末續 慎吾	プロ陸上短距離選手 / 星槎大学特任准教授
委員	福島 千里	元陸上短距離選手 / 順天堂大学スポーツ健康科学部特任助教
委員	住永 正	会社員（公募により選ばれた委員）
委員	高井 美希	会社員（公募により選ばれた委員）

東京2025世界陸上 大会ロゴ・デザインコンセプト・作者



デザインコンセプト

世界-東京-つながる。をテーマとしたロゴをデザインしました。東京の都市コードであるTYOをモチーフとしてストライプで世界のアスリート、日本、東京が結びつく様子をイメージしました。ストライプは陸上トラックのレーンを表しています。スピード感や躍動感もありながら日本の伝統美も感じさせるロゴデザインです。

作者

中川 亮 クリエイティブディレクター・デザイナー
大手CI会社、グローバルブランドコンサルティング会社勤務を経て、1998年DOT設立

東京2025世界陸上 大会ロゴ（横置き、縦置き）



東京2025世界陸上 大会ロゴ（展開例）

